

SS (サービスステーション)

Service Stations

SSのオペレーションに、環境管理ポイント(EMポイント)というシステムを導入、リスクを定量的に把握しています。

さらに環境と調和したSSづくりに工夫を行っています。

✦ 環境管理ポイント(EMポイント)

2003年4月より、コスモ石油のSS販売促進プログラム「NAV I」の目標実現指標のひとつとして、「漏洩対策管理」や「設備点検」、「産業廃棄物対策管理」などに関する「環境管理ポイント(EMポイント)」を導入し、SSの環境リスクマネジメントを行っています。

EMポイントの調査は年2回、全国約5,000ヵ所のSSを対象に行っています。2003年度～2004年度で計4回実施していますが、回を重ねるごとに、回収率、得点ともに改善しています。今後もSSの施設安全管理の実態を把握し、管理の改善を図っていきます。

✦ 環境調和型SS

●ソーラーパネルの設置

環境と調和した先進的なSSづくり、その試みのひとつにソーラーパネル(太陽光発電システム)の設置があります。2004年度に、新たに12のSSに設置し、合計37ヵ所のSSが太陽エネルギーを利用しています。

●炭化水素ベーパー回収装置の導入

炭化水素ベーパー(蒸気)の拡散を抑えるため、SSでの炭化水素ベーパー回収装置の設置を進めています。

✦ 啓発活動

特約店およびSS運営者に対して、SSの環境管理を行うためのツールなどを基に、当社オリジナルのリスクマネジメント研修を全国9ヵ所で実施するとともに、啓発ビデオの作成、配布を行いました。

また、コスモ石油の全SS(約5,000ヶ所)で配布されている「SS施設安全点検記録帳」の中に、「環境マネジメントマニュアル」を追加しました。このマニュアルの中で、油分漏洩が引き起こす環境負荷および早期発見を可能にする点検ポイント、漏洩が確認された場合の対応手順について記載し、各SSへ周知を図っています。

炭化水素ベーパー回収装置

